

20 保守点検（定期点検）

各部の点検及び時期を、下表のように実施します。

⚠ 注意

- 点検整備を行うときは、必ずエンジンを停止し、走行クラッチレバー『切』の位置にしてから行ってください。
- エンジンをかけた状態で点検、整備を行う必要がある場合は、自分では行わず必ず販売店のサービス担当者に依頼してください。

※○印は、点検時期を示します。

点 検 項 目			点検時間（時間毎）				備 考
			毎日	50	100	初回点検	
舵取り装置	サイドクラッチバ-	ワイヤの伸び及び損傷		○			
制動装置	走行クラッチバ-	ワイヤの伸び及び損傷		○			
走行装置	クローラ	クローラの摩耗状況			○		
動力伝達装置	Vベルト	ベルトのゆるみ及び損傷		○			
	トランスミッション	オイル漏れ、油量点検	○				
		オイル交換			○	50	ギヤオイル#90、0.5L
エンジン	燃料	燃料の量	○				自動車用レギュラーガソリン 2.5L
	始動装置	点火プラグの隙間調整			○		0.7mm
	エンジン オイル	オイルの点検・補給	○				SAE#10W-30
		オイルの交換			○	25	SE級以上、0.5L
	IPクリーナ	エレメントの清掃	○				
	リコイルスタータ	周辺の清掃	○				
	マフラーカバー	周辺の清掃	○				
	燃料・オイル	燃料漏れ・油漏れの点検	○				
	燃料コック	点検・清掃	○				
燃料パイプ	燃料パイプの交換	3年（但し、必要に応じて交換）					
噴霧用 ポンプ	クランク ケース	オイルの点検・補給	○				SAE#10W-30
		オイル交換			○	50	SJ級以上、0.42L
	シリンダ 取付部	注油		○			SAE#10W-30 SJ級以上注油（1～2滴）
ワイヤ部への注油		左右サイドクラッチワイヤ		○			↑
各摺動部		注油		○			↑
レバー支点部		グリスニップル			○		シャーシグリース
吸水ストレーナ		ゴミ等の詰まりはないか	○				
取付ボルトの増し締め		エンジン、フレーム トランスミッション			○		

■ エンジンについてはエンジンの取扱説明書に従ってください

⚠ 警告

- オイルを抜く場合は、必ず容器に受けてください。
- オイルは不用意に捨てないでください。環境に悪影響を与えます。
廃油の処理についてはオイルの購入先にご相談の上、処理してください。